

臨床研究に関する情報公開(研究要旨)

太田西ノ内病院では、下記の研究を実施しております。

番号	14
研究課題名	自殺企図が重症外傷患者の院内死亡率に与える影響：市中病院救命救急センターにおける後ろ向きコホート研究
研究責任者 (試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称)	神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害救急医学分野 助教 大野雄康
共同研究者 (利用する者の範囲)	麻酔科 篠原一彰・救命救急センター所長代行 石田時也・神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害救急医学分野 教授 小谷穰治
研究目的 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	救命救急センターにおいて、自傷群（自殺企図による外傷）と非自傷群（非自殺企図による外傷）を重症度や患者背景をそろえたうえで比較し、自傷が生命予後、病院前滞在時間、院内滞在日数にどのような影響を与えるか検証することを目的とする。
他の研究機関(共同研究機関含む)への情報提供の有無、及び提供先の研究機関名・その提供方法	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有に <input checked="" type="checkbox"/> した場合、提供先の研究機関名 及び その提供方法 提供先医療機関：神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害救急医療学講座 提供方法：パスワードをかけたUSB
研究実施期間	2023/09/30～2028/08/31
研究対象者及び対象期間	2002年1月1日から2021年12月31日までに当院へ救急搬送され、かつInjury Severity Score (ISS) >15の重症外傷患者。ただし、来院時心肺停止症例と、他院からの転院搬送症例は除外とする。
利用する情報 (利用し、または提供する試料・情報の項目)	患者の収容年月日、年齢、性別、初期接触時バイタルサイン、受傷起点、緊急気管挿管の有無など。
研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
備考	